



発行所
社会福祉法人
静岡県身体障害者福祉会
静岡市葵区駿府町1番70号
電話 054-252-7829
FAX 054-255-2011
発行 平成24年1月10日
発行人 二橋 眞洲男
編集人 松本 夢吉

第86号



新年のごあいさつ

静岡県身体障害者福祉会 会長 二橋 眞洲男

新年 明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、つつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

会長職を引き受けて、はや1年半が経ちました。昨年6月には「第59回全国盲人福祉施設大会」を開催したほか、2度の福祉大会を開催するなど重責を全うできましたのも、役員はじめ多くの皆様方のご支援とご協力の賜物と心より御礼申し上げます。

富士市身体障害者福祉会の退会については、当会としても構成団体の窮状を理解し、何らかの対策を講じる必要があると考えさせられており、皆様方からのご意見、ご希望をお聞きしてまいりたいと思っております。

さて、昨年には宇宙を構成する天・地・人すべてにおいて、大きな出来事がありました。地の変は3月11日の東日本大震災、天の変は9月21日に浜松市に上陸した台風15号で、これらにより大きな被害が出ました。特に東日本大震災では未だにその傷跡が残されております。一刻も早く復興されることを祈念しております。

また、人の変は障害者基本法の改正や障害者虐待防止法の制定、そして障害者自立支援法に代わる障害者総合福祉法に関する骨格提言がなされたことです。今年の通常国会には、この骨格提言に基づき作成されるであろう障害者総合福祉法案が提出され、平成25年8月に施行されるスケジュールとなっております。

当会を取り巻く環境を鑑みると、会員の減少や高齢化という課題が依然としてあります。個人情報保護法・条例の施行とともに、地域に住まわれている障害者の情報が入手困難となり会員獲得に支障がでておりますが、これは組織の将来を左右するだけではなく、東日本大震災における障害者の被害が特に甚大であったことを考えますと、大変な困難が予想されますが、障害者の救命といった視点からも解決すべき課題であります。行政の理解を進めるために会員各位の一層のご協力を切に願うところ です。

本年は辰年です。静岡県の指定無形民俗文化財であります岡部や草薙の大龍勢にあやかり、皆様には昇竜の勢いで運勢が開かれることを、心から祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

平成24年 辰年に寄せて

障害者にとって安心・安全な社会の実現に向けて

身体障害者9団体
県に要望書を提出

昨年11月18日（金）に県庁本館で、身体障害者9団体の代表と池谷健康福祉部長、佐野障害者支援局長など県関係者との懇談会が行われました。最初に二橋会長から9団体を代表して、身体障害者福祉施策に関する県への要望書が手渡され、その後、県関係者との意見交換が行われました。

今回の懇談会では、東日本大震災の教訓から障害者への災害対策の充実を求める要望や、障害者福祉制度の大きな変革が進む中での県としての考え方や対応に関する要望が多く出されました。

県からは、被災地・福島に出かけて色々な団体の協力の必要性を強く感じたこと、県として市町には要援護者台帳の作成を求めているという話がありました。また、制度改革に関しては、内容が、健康福祉部だけの問題ではないため、県庁内に法改正を知らせると同時に幹部職員会議でも提起してゆくなど、真摯な取り組みを進めることが強調されました。

このほか、災害関連では、9月県会で災害弱者に対する質問が出され、健康福祉部として障害特性なども踏まえた自主防組織向けの啓発冊子を作成することになったこと、制度改革に関しては障害者基本法の改正を受けて、県庁内ばかりでなく、全市町にも、全庁内で共有するように指導したなどの説明がありました。

また、県の広報テレビ番組から手話通訳者が見えなくなった事については、事実確認の上、善処したいとの返答でした。要望書や懇談会での意見に対して、その後の説明・返答がないとの団体からの意見には、これからは、文書で回答出来るように努めるとの返答がありました。



各団体代表と県関係者らが意見を交わしました

要望の概要

全般要望

1. 障害者に関する関係法令の抜本的な改革を検討している国に対し、私たちがこれまでに築いてきた成果を踏まえて法体制を整備するよう、県として働きかけてください。
2. 近い将来に発生が予想されている東海地震に備えるため、東日本大震災における障害者の被害や避難生活の実態などを検証し、障害の特性にあった情報の提供や安全な避難の方法、安心して生活ができる避難所などの対策を講じていただきたい。
さらに、障害者の安否確認のためなどに必要な個人情報を開示するよう市町を指導してください。
3. 「障害者権利条約」の批准に向けた国の法整備に合わせ、障害のある人もない人も共に暮らしやすい静岡県づくりを目指した「障害者差別禁止条例」制定の環境づくりを進めてください。
4. 経済情勢はますます悪化の一途を辿り、障害者の雇用は一層厳しさを増しているため、障害者の雇用・就労の促進を図るとともに、県をはじめとする公共団体における採用枠の一層の拡大などに努めてください。
5. 各団体とも構成員の高齢化と新規加入者の減少による組織の弱体化を防止するため懸命に努力しているところであり、県においては厳しい財政状況ではありますが、引続き財政支援をはじめとする各種の支援をお願いします。

団体別要望 各団体から出された主な要望

【社団法人 静岡県視覚障害者協会】

- ・同行援護事業の実施にあたり、自治体間で適用の仕方にバラつきが出ないように指導を周知して欲しい。
- ・視覚障害者の情報保障の一環として県・市町のホームページの内容をテキスト形式で掲載して欲しい。

【公益社団法人 静岡県聴覚障害者協会】

- ・社会の壁をなくすために「いつでもどこでも手話通訳保障」の継続と周知を求める。
- ・県内全市町に手話通訳者を配置し、また、手話通訳者の労働条件の改善と身分保障を求める。

【静岡県車椅子友の会】

- ・公共機関の車椅子トイレは男女別々にしていただきたい。
- ・重度障害者も避難出来るように避難所の環境を改善して貰うと同時に、県の防災マニュアルを再度点検し重度障害者が安心できるマニュアル作りを目指していただきたい。

【日本喉摘出者団体連合会 静岡県静鈴会】

- ・喉摘者のために専門相談員の養成支援をお願いしたい。

【公益社団法人 日本オストミー協会 静岡県支部】

- ・災害時におけるストーマ用装具緊急支給の確立、装具の備蓄、避難所での供給態勢を具体化していただきたい。

【日本心臓ペースメーカー友の会 静岡県支部】

- ・内部障害者が増加している若年の頃より予防医学に取り組み、健康教育をしていただきたい。

【NPO法人 静岡県中途失聴・難聴者協会】

- ・補装具(補聴器)の交付事業を中等度難聴以上の児童・生徒へ交付して頂きたい。
- ・難聴者のエンパワメントを発揮できるよう、訓練事業を担う人材養成事業へ助成願いたい。
- ・防災ラジオに字幕送受信・表示機能を付けていただきたい。

【静岡県腎友会】

- ・行政・専門医・医師会・患者からなる「腎疾患総合対策委員会」を設置していただきたい。
- ・通院困難な在宅透析患者の為にホームヘルパーの増員、通院介護を保障する体制を確立して欲しい。

【社会福祉法人 静岡県身体障害者福祉会】

- ・視覚障害支援センターが3年を限度に点字図書館に設置され、今年度で期限が到来する。視覚障害者の生活に必要なサービスを提供するとともに中核的な役割を担っている。継続について検討願いたい。
- ・個人情報保護条例が施行された後、新たに身体障害者となった人の情報が入手できなく相談業務に支障が出ている。障害者が個人情報を身体障害者相談員に開示することを了解した場合には、住所・氏名など身体障害者相談員に知らせるよう市町に指導願いたい。

創ろう みんなの障害者総合福祉法を！

10.28 J D F 大フォーラム

10月28日(金)、快晴の下、東京都日比谷公園内大音楽堂において開催された「創ろう みんなの障害者総合福祉法を！10.28 J D F 大フォーラム」に参加して来ましたので、報告します。

このフォーラムは、今年の通常国会に上程される予定の障害者総合福祉法案には「障害者総合福祉法の骨格に関する総合福祉部会の提言」が確実に盛り込まれることを目指して開催されました。

11時の開場前からゾクゾクと参加者が集まり、数多く幟や旗が掲げられた中、大音楽堂の定席3114では収まりきれず、通路や会場外にも多くの人であふれ、参加者は1万人にも上りました(主催者発表)。

主催者挨拶に続き各政党代表者の激励の言葉、各団体からの現状報告があり、「骨格提言で満足せず、法案作りの過程で厚労省や財務省などが骨抜きを図るかも知れず監視が必要」などの発言の後、「骨格提言を最大限尊重すること」及び「十分な予算を確保すること」のアピールを採決し、東京駅近くまでパレードを行いました。



第53回 静岡県身体障害者福祉大会

日時：平成23年9月16日(金) 13:00～16:00

会場：静岡県総合社会福祉会館703会議室

今年度も200名余の会員や関係者が一同に会し、[第53回静岡県身体障害者福祉大会]が、静岡県総合社会福祉会館で開催されました。表彰式では、二橋会長と大村副知事から、障害者福祉の向上や推進に貢献した3団体37人に褒賞や感謝状が贈られました。

また、第3部では、「富岳学園」の原博男先生をお迎えして、「今、私たちは……～何が必要で何が大事なのか～」と題して講演いただきました。

今年度の表彰者は、下記の通りです。おめでとうございます。

来年度は、第54回福祉大会と60周年記念大会の同時開催となります。



◎褒章贈呈者(3名)……身体障害者相談員に20年以上在籍し功績顕著な者及び他の模範となる自立更生者
 ・菊間 富生(熱海市) ・福井 敏夫(藤枝市) ・久保田 文治(御殿場市)

◎特別感謝状贈呈者(7名)……郡市町会長を退任され、功績顕著な者

- ・平野 弘(伊東市) ・兼子 末春(伊豆の国市) ・佐藤 俊男(沼津市)
- ・佐藤 勝美(御殿場市) ・小林 眞(藤枝市) ・杉本 榮一(島田市)
- ・加茂 英雄(磐田市)

◎一般社会人等感謝状贈呈者(2名)……身体障害者福祉に貢献、他の模範となる者

- ・遠山 允子(静岡市) ・田中 洋子(静岡市)

◎功労表彰贈呈者(4名)……身体障害者相談員を15年以上在職し、功績顕著な者

- ・前田 洋子(三島市) ・吉川 明彦(三島市) ・池田 富美子(長泉町)
- ・海老名 重徳(藤枝市)

◎自立更生表彰贈呈者(16名)……身体障害者の自立更生者で、他の模範となる者

- ・一瀬 隆治(御殿場市) ・雨宮 重行(御殿場市) ・山口 勘五郎(裾野市)
- ・蓮沼 幸夫(伊東市) ・稲葉 津佳(富士宮市) ・池谷 金松(藤枝市)
- ・吉村 憲一(御前崎市) ・岩田 充(袋井市) ・久保田 恭一(袋井市)
- ・掛井 利光(磐田市) ・中村 均(磐田市) ・溝口 光好(菊川市)
- ・沢崎 敏明(菊川市) ・辻岡 実(湖西市) ・内藤 昌昭(浜松市)
- ・石川 武利(静鈴会・浜松市)

◎優良構成団体表彰贈呈者(3団体)……団体組織活動の優良な団体

- ・函南町身体障害者福祉会 ・焼津市身体障害者福祉協会 ・菊川市身体障害者福祉会

◎信連賞感謝状贈呈者(5名)……役員、評議員及び相談員等を10年以上にわたり歴任し、会の発展に功労した者

- ・小笠原 詩子(熱海市) ・杉本 枝三郎(焼津市) ・村松 清志(藤枝市)
- ・松本 佐市(浜松市) ・仲村 泰則(浜松市)

※大会宣言・決議及び収支予算書決算書は、ホームページをご覧ください。

<http://www.e-switch.jp/shizuoka-shinsyo>

第29回 自動車安全運転教室

平成23年11月6日(日)午前10時より、浜松市和地山静岡県自動車学校浜松校に於いて、障害者安全運転教室が開催されました。受講者もあいにくの天候の中、熱心に講習、実地にと活躍いたしました。お世話いただきました浜松校の職員の方々にも改めて頭の下がる思いでした。

参加者の方々も交通社会人の一員として、新たなる意識をもってくれたと確信いたしました。来年度に向けてNEXCO中日本より、高速料金所無人化システム、静岡県より障害者駐車場利用証交付についての説明等があり、皆、真剣に取り組みました。



真剣な表情で講話に聞き入る受講者



コースに出て実技指導を受けました

第37回 障害者文化作品展

日時：平成23年11月17日(木)～21日(月)

会場：静岡県総合社会福祉会館 1階展示ギャラリー他

今年度の文化作品展には、全県から253点の作品が寄せられました。様々なハンディを抱えながらも精力的に創作された作品を出品していただきました。絵画から写真、手芸に至るまで魅力的で完成度の高い作品ばかりでした。

ここに栄えある最優秀賞に輝いた皆さんのご紹介をさせていただきます。

最優秀賞 静岡県健康福祉部長賞



絵画部門で最優秀賞に輝いた
松木風太さんの作品

種別	市 町	氏名	作品名	障 害
絵画	静岡市フーク春日	松 木 風 太	僕の脳内空間	筋ジストロフィー
書道	浜松市	伊 藤 京 子	劇	変形性関節症
写真	菊川市	牧 野 勤	ウインドサーフィン	肢体
工芸	沼津市	岩 本 新 一	陶器のぶどう大きいな	脳梗塞による上下肢機能
手芸	函南町	岩 城 良 子	春野水面	下肢機能
文芸書画	函南町	石 井 孝 幸	ほし柿	小児麻痺

以上のほかに、特別賞（静岡県社会福祉協議会長賞）7名、優秀賞（静岡県身体障害者福祉会長賞）12名、努力賞（静岡県身体障害者福祉会長賞）26名の方々が受賞されました。

ブロックだより

東部ブロック 沼津市身体障害者福祉会

河津町身体障害者福祉会との交流会

昨年8月29日(月)沼津市勤労者体育センターで、河津町身体障害者福祉会とフライングディスクの交流会を行いました。

河津町とは3年前、「布草履を教えて!」「カゴの作り方を教えますよ。」というのが始まりで顔なじみになり、その後、河津の方がフライングディスク東部大会に見学に来た時に、たまたま沼津チームの2名が欠場したため、そのグループに入ってもらって競技をしたのがきっかけで交流がスタートしました。

今回は参加者を5組のグループに分けて、初体験の多い河津の方たちには親切丁寧に教えて欲しいと伝えて和気あいあいとした時間を過ごしました。後日、河津の相馬会長からは「大変楽しかったと皆が喜んでます。」とお礼の電話をいただき、賀茂郡のスポーツ大会にフライングディスクを競技種目にしたいので用具を貸して欲しいと申し入れがあり、喜んでお貸ししました。どんな大会になったのでしょうか。



フライングディスクで交流が深まりました

中部ブロック 島田市身体障害者福祉会

"車いす空手"岡村選手がやって来た!!

第4回家族ふれあいスポーツ大会が、11月6日(日)島田市ローズアリーナで開催されました。競技前には、英国で9月に開かれた車いす空手の世界大会に初出場し準優勝された岡村選手と増田師範が演技して下さい、館内は盛り上がりました。

岡村選手は「将来の夢は、障害者に空手を教えること。障害者にスポーツの楽しさを伝えたい。」と力強く語っていました。

競技に入ると、参加者は各チームに分かれ、ボウリング倒し、アイマスク品物探し、景品探し、車椅子競技、フライングディスク、輪投げ、パン喰い競争、玉入れ競技などに心地よい汗を流し、事故、ケガもなく大いに楽しみ、有意義な大会となりました。



趣向を凝らした競技に挑戦!
-写真はパン喰い競争の様子

西部ブロック 袋井市身体障害者福祉会

"福祉教育の重要性"を考える

「聴覚障害者宅狙い非道の数々」「花火仕掛け消火器噴霧」袋井市内で起きた中学生による悪質な事件の新聞報道に、私は驚きのあまり言葉を失いました。記事一読、市役所へ走り、しあわせ推進課・学校教育課の三者で話し合いを持ちました。

その後、市教育長・袋井警察署長宛に、安全で安心のできる生活、生命の大切さ・心のやさしさを育てる教育、治安を求める要請書を提出させていただきました。

私ども福祉会としては、身体障害者相談員の責務と充実の必要を思いました。

相談員制度、誰が相談員なのかを周知徹底する手法を考え、相談員に気軽に声をかけられる体制作りに力を入れたいと考えています。また、力の足りない所は、民生委員児童委員の皆さんの助力を得ながら、すすめてまいりたいと存じます。

今、相談員制度のあり方、正邪善悪を判断する道徳観、倫理観が問われています。皆さんはどう考えますか。

※ 袋井市の対応等、詳細については12月発行の「静岡県身体障害者福祉会情報 第11号」に掲載しました。



静岡新聞 平成23年12月1日付

浜松ブロック

浜松市身体障害者福祉協議会

第1回 浜松市身体障害者体育祭を開催

10月16日(日) 10:00より、聖隷クリストファー大学体育館において「第1回浜松市身体障害者体育祭」を開催しました。

聖隷クリストファー大学の学生ボランティア18名のご協力を得て、参加者180名がボール送りリレーや缶運び、ボウリングリレーなどに汗を流しました。地区別競技では、三ヶ日チームが優勝し、雄踏・舞阪チームが準優勝でした。

競技内容はそれぞれに工夫されており、参加者は四苦八苦しながらも競技に挑戦していました。その素晴らしい闘志に拍手を送りたいと思います。"拍手あり 掛け声あり 笑顔あり"参加者の生き活きとしたすがすがしい姿に感動した楽しい1日でした。



ボウリングリレーの様子
ペットボトルを狙って集中

三幸協同製作所 日帰り社会見学旅行を終えて

この行事の成功は、天気にかかっているとも言えます。今年は未曾有の震災から始まり、大きな天災が続いています。そんな中、旅行の企画実施は、全員で同じ所に行く事とし、食事については、四つのメニューから個々に選択するという方法をとりました。

旅行日が近づくと、利用者の方々が、週間天気予報を見て「当日は天気がいいからいいな。」・・・何日かすると「当日だけ雨になった。大した事ないといいな。」と気にかけて旅行を楽しみにしてくれていると感じました。

当日は、曇りでしたが良好な天候。行き先のリニア・鉄道館についてS子さんから「私、鉄道オタクだったんだ。又、行ってみたいな。」という話が聞かれました。そういえば行く前にいろいろな鉄道の本を持って来ては見せてくれた事を思い出しました。旅行当日行動を共にしたK君は、鉄道館で目を輝かせながら古い新幹線に乗った時、「自分も昔これに乗った事があるんだ。」と話してくれました。また何人かの利用者からは「食事もおいしかった。」と言っただき、企画した者としてうれしい思いがしました。旅行後S君が、「今回の旅行が良かったので、弟達にも行って来る様に教えたいが金額はどの位かかるのか？」と具体的に聞かれるなど、手ごたえの良い結果が得られました。



懐かしい新幹線の前で

会員有志の千カウで大成功！しずおか元気応援フェア2011

今回は『体験』をキーワードに、福祉会の出展ブースでは、例年好評の点字体験と沼津市・河津町・三島市の各福祉会の会員有志の協力を得て"ものづくり体験"を行いました。

1日目は、沼津市と河津町の皆さんに編みカゴ作りを、2日目は三島市の皆さんにネックレス作りを教えていただきました。両日とも次から次へと体験者が訪れ、大盛況でした。

目の回るような忙しさの中でしたが、テキパキと体験者に対応していただき、最後に「良い経験が出来て本当に良かった。」とおっしゃる皆さんの笑顔は本当にキラキラと輝いていました。2日間、本当にありがとうございました。



体験者でにぎわうものづくり体験コーナー

文藝

短歌

園児らと向き合いて

フオークダンス

踊れば一日 楽しき幼児に戻る

沼津市 中野 藤枝

乳飲み子に

母をとられし幼子が

バスの背もたれに

声かけてくる

御前崎市 久保 八重

俳句

青春が まなうらに颯つ 磯の春

御前崎市 久保 八重

川柳

無為徒食 ひねもす ラジオ

つけ放し

富士宮市 稲葉 定吉



沼田好策さん(長泉町) ねりんピック日本画部門で最高齢者賞を受賞

平成23年10月15日から熊本で開催された、ねりんピックの日本画部門で長泉町身体障害者福祉会の元会長・沼田好策さん90歳が、最高年齢賞を受賞しました。

日本画など6部門に、全国から536点の出品があり、日本画には88点、静岡県からは6部門36点が出品されました。

沼田さんの出品作品は、構想から完成まで1年かかったという50号の大作「鮎壺の滝」です。長泉町にある富士山の溶岩の流れが止まった地点にできた滝で、鮎の溯上もここまで。雪解けの湧き水で育まれることから「鮎壺の滝」の名前がつきました。風光明媚で勇壮な景観は長泉町住民の誇りになっています。



作品は、富士山麓の雪解け水を集めた力強い三筋の水流が岩にあたり水しぶきを上げて、滝つぼにたたき付けられる、自然への畏敬すら感じさせる雰囲気を持っています。長泉町福祉会館でお話を伺いました。

沼田さんは元国鉄マン。連結での左手負傷後は、努力して出札の仕事に取り組み、横浜駅の助役を最後に退職され、旅行会社で5年ほど経験を生かして働いた後、長泉町のシルバー人材センターの設立に尽力され、交通安全協会の会長などを歴任されました。

日本画は、国鉄退職後にはじめたとか。生来の性分「はじめたら、やめない」で、続けてきたといひます。作品も少しずつ増えて、先々個展を開いたらどうかというお話もあるとか。

グラウンド・ゴルフの県大会にも参加するなど、まだまだ若いものには負けないぞ…と、若々しさを感じさせ、背筋を伸ばし、言葉も一つ一つ丁寧にしっかりとした沼田さん。これからも頑張ってくださいと思わずエールを送りました。

投稿大募集!! 静身会報に皆さんの声を載せてみませんか?

「最近、ふと思うこと」「この人をみんなに紹介したい!」「旅先で思ったこと」などありましたら、投稿よろしくお願ひします。短歌・俳句・川柳などの投稿もお待ちしております。

多数投稿の場合は選定させていただきます。点訳をするため、漢字には必ずふりがなをお願ひします。

次回の投稿締め切りは、平成24年6月15日(金)です。

<送付先>静岡県身体障害者福祉会

〒420-0856 静岡市葵区駿府町1番70号 静岡県総合社会福祉会館5階

電話 054-252-7829 FAX 054-255-2011 E-mail syougaisya@za.tnc.ne.jp